

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	11	観光施設整備に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	102,877千円	90,391千円	65,889千円	0千円
総人件費	20,091千円	13,211千円	9,775千円	
総事業コスト	122,968千円	103,602千円	75,664千円	

事務事業名	01 筑波山梅林及びその周辺整備事業			指標名	筑波山観光客入込数				指標種別	成果指標	指標の概要			
	戦略プラン	12	1	観光の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度		
		2	1	観光の振興	200万人	200万人	200万人	200万人	200万人	200万人	200万人			
		-	-	-	実績	188万人	175万人	-						
		-	-	-	H27年度				H28年度					
		-	-	-	改善目標	工事対策(想定できる費用を見込み,他のコストを圧縮する。) 渋滞緩和対策(各市営駐車場の満車状況を表示する案内板を整備することで,適切な駐車場への誘導を図り,筑波山に訪れるマイカ-利用者の渋滞を緩和する。)				改善目標	工事で巨石の発生が予想されることから,現場内で有効活用する。梅まつり前に工事を終わらせる必要があるため,補助手続きを速やかに進めるとともに,入札不調も予測したスケジュール管理を行う。			
		-	-	-	事業計画	第1駐車場安全及び防犯対策工事 第1駐車場内公衆トイレ整備 森林体験パーク子ども向けコース増設 梅林内園地(広場)整備 おもてなし館周辺(外構等)整備設計				事業計画	おもてなし館周辺整備工事 ・木製デッキ,木製階段,舗装 ・遊歩道,階段整備 おもてなし館自然解説板作成 ・おもてなし館内デジタルサイネージ用データ作成 第3駐車場案内看板設置 ・梅林周辺～四季の道～第3駐車場周遊案内			
		-	-	-	活動実績	筑波山第1駐車場附帯工事により,駐車場内の安全性が改善され,利便性が向上 筑波山第1駐車場の簡易トイレを観光地に相応しいトイレとして整備 森林体験パークへ新たに子ども向け(体験)コースを整備 梅林内に新たに景色が楽しめる芝生広場を整備 第1駐車場からの動線及びおもてなし館周辺の有効スペースを確保する設計を実施 交通渋滞対策として,市営筑波山駐車場の電光満空表示板を整備				上半期活動実績	-			
		-	-	-	成果	梅林周辺を一体的に整備することで,筑波山中腹の新たな魅力がスポットとなり,筑波山観光の経済効果に大きく貢献した。特に公衆トイレ整備は,簡易トイレを解消できたことで,梅まつりの魅力をさらに向上した。また,森林体験パークは,年間目標利用人数を大きく上回り(年間10,800人以上となる見込みで目標値10,000人),駐車場利用数も大幅に増加した。				上半期成果	-			
		-	-	-	課題	・筑波山の特徴である巨石の発生により,工事は困難を極め,工事費が増大してしまう。発生した巨石を有効に活用することでコストを削減を図る必要がある。 ・第1駐車場が拡張したとはいえ,まだまだ行楽シーズンでは大きな渋滞が発生する。 ・登山道や梅林内のサインが少ないとの指摘がある。				課題	-			
		-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
		-	-	-	評価	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		有効性	-				
		-	-	-		効率性	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している		効率性	-				
		-	-	-		総合評価	S:成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-				
		-	-	-	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)				
		-	-	-		63,742千円	73,001千円	59,106千円	0千円	国庫支出金				
		-	-	-		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金				
		-	-	-		24,139千円	19,800千円	25,272千円	0千円	地方債				
		-	-	-		0千円	0千円	23,100千円	0千円	その他特財				
		-	-	-		18,200千円	8,849千円	1,300千円	0千円	一般財源				
		-	-	-		21,403千円	44,352千円	9,434千円	0千円	人件費(B)				
		-	-	-		15,128千円	10,982千円	7,546千円		正職員				
		-	-	-		1.60人	1.20人	0.80人		従事割合				
		-	-	-		1098.00時間	774.00時間	600.00時間		時間外勤務				
		-	-	-						臨時職員等				
		-	-	-		無	無	無		事業コスト(A+B)				
		-	-	-		78,870千円	83,983千円	66,652千円		H29年度当初積算根拠				
		-	-	-						理由				
		-	-	-						H29年度の方向性				

ISO 14001	環境性	-	-	-	評価	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		有効性	-		
		-	-	-		効率性	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している		効率性	-		
		-	-	-		総合評価	S:成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	69,581千円	90,262千円	122,160千円	0千円
総人件費	16,381千円	17,336千円	16,460千円	
総事業コスト	85,962千円	107,598千円	138,620千円	

事務事業名	01 観光施設維持管理事業				指標名	観光客入込数				指標種別	成果指標				指標の概要				
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		H30年度	H31年度	H32年度	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数(平成28年度以降分)					
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	400万人	400万人	339万人	346万人	353万人	360万人	-	その他の指標						
総合戦略	-	-	-	-	実績	342万人	332万人	-					観光施設光熱水費の削減 H27年度実績(目標値) おもてなし館、駐車場外灯等増設 ・電気料:3,434千円(4,070千円) ・上下水道料:1,412千円(1,685千円) H28年度目標値 BiVi観光案内所、第1Pトイレ増設 ・電気料:4,822千円・上下水道料:1,627千円						
2 1 観光の振興						H27年度				H28年度									
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	引き続き光熱水費等の維持費の削減を図り、必要な修繕を行う。				改善目標	引き続き、光熱費等の経費の削減を図り、観光地としての必要な維持管理を行う。				事業実施コスト				
	事業計画					筑波山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理 梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援、修繕 おもてなし館管理運営 荳崎地域観光施設維持管理					事業計画				筑波山山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 各観光案内施設年間維持管理(筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所) 梅林維持管理 宝篋山休憩所・登山道維持管理 森林体験パーク運営支援・修繕 荳崎地区観光施設維持管理				H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初
根拠法令等	-	事業計画				活動実績				上半期活動実績				事業費(A)					
事業分類	F 施設等維持管理事業				成果				上半期成果				国庫支出金						
執行体制	一部委託				課題				課題				県支出金						
事業の目的	おもてなしの意識で筑波山観光施設の行き届いた維持管理を行うことで、つくばの観光イメージを損なうことなく、快適でかつ公共の安全が確保され、更なる魅力の向上に努めるため。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				地方債						
	市内観光施設の維持管理を実施し、快適で魅力ある観光施設を提供する。 筑波山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理 梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援、修繕 荳崎地域観光施設維持管理				達成				達成				その他特財						
事業の概要	市内観光施設の維持管理を実施し、快適で魅力ある観光施設を提供する。 筑波山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理 梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援、修繕 荳崎地域観光施設維持管理				達成				達成				一般財源						
	市内観光施設の維持管理を実施し、快適で魅力ある観光施設を提供する。 筑波山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理 梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援、修繕 荳崎地域観光施設維持管理				達成				達成				人件費(B)						
ISO 14001 環境性	有効性				高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性				正職員						
	効率性				中: 適切な費用対効果が得られている				効率性				従事割合						
				総合評価				A: 成果を維持して継続実施				時間外勤務							
												臨時職員等							
												事業コスト(A+B)							
												H29年度当初積算根拠							
												理由							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	69,581千円	90,262千円	122,160千円	0千円
総人件費	16,381千円	17,336千円	16,460千円	
総事業コスト	85,962千円	107,598千円	138,620千円	

事務事業名	02 荳崎こもれび六斗の森管理運営事業				指標名	施設利用料収入				指標種別	活動結果指標				指標の概要
	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標						
戦略プラン	-	-	-	-	7,250千円	7,500千円	8,867千円	-		-	-	-	施設の充実とサービスの向上、ニーズに応じた自主事業を展開することで、利用料収入の拡大に繋げる。		
総合戦略	-	-	-	-	実績	7,858千円	8,943千円	-				施設利用状況 H27年度実績(目標値) ・宿泊棟:2,520人(2,450人) ・テント, BBQ:11,224人(11,000人) H28年度目標 ・宿泊棟:2,500人・テント, BBQ:11,500人			
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				H27年度				H28年度						
	改善目標	自主事業を充実することにより、PR効果を高め、特に毎月のピザ焼き体験では、参加者のニーズに応え、更なる魅力づくりに努めるよう誘導する。				改善目標	自主事業を充実することで、宣伝効果を高め、サービスの向上を図り、更なる魅力づくりを行う。また、除草管理など、人件費の削減を行う。								
事業計画	管理棟階段修繕 BBQ場通常修繕 宿泊棟防腐塗装工事 浄化槽修繕 宿泊棟備品交換 ピザ焼き体験のPR 指定管理者の更新手続き				簡易な施設修繕 キャビン木部やBBQ場の修繕 BBQ場改築設計 老朽化したBBQ場を改修する設計を実施 キャビン防腐塗装工事 3棟×3年計画 キャビントラス屋根修繕工事(BBQ対応) テラスに屋根を設置し、雨天時でもBBQが可能										
	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初										
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業費(A)	7,815千円	11,327千円	9,253千円	0千円						
	執行体制	指定管理者				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
事業の目的		荳崎こもれび六斗の森を適切に維持管理することにより、受け入れ態勢の充実を図り、誘客の促進を図るため。				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
	事業の概要	指定管理者と連携を図り、管理運営を行っている。指定管理者とは月1回程度で運営状況等について話し合い、利用者のニーズに応じた柔軟なサービスの提供に努める。また、施設の老朽化が進んでいることから、修繕計画に基づき修繕を行う。				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
活動実績		主に計画的な修繕に努め、本年度は契約更新に係る事務手続きを実施した。 管理棟階段修繕 BBQ場屋根修繕 キャビン防腐塗装工事 浄化槽修繕 キャビン備品交換 ピザ焼き体験PR(つくば市報) 指定管理者の更新手続き				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
	成果	年々利用者も増加し、特に市報やHPを活用してのPRも効果が高いことから、引き続き指定管理者と連携し、施設の魅力を発信した。また、自主事業でお客様へのサービスを充実することで、利用者のリピーター率が向上した。				一般財源	7,815千円	11,327千円	9,253千円	0千円					
課題		各施設及び浄化槽等で老朽化が進行していることから、予算の確保に努める必要がある。				人件費(B)	2,278千円	2,972千円	2,229千円						
	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-							
ISO 14001 環境性		有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		有効性	-	効率性	-							
	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-	総合評価	-								
H29年度当初積算根拠		H29年度当初積算根拠				事業コスト(A+B)	10,093千円	14,299千円	11,482千円						
H29年度の方向性		-	理由		-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	34,627千円	36,250千円	37,400千円	0千円
総人件費	33,974千円	33,852千円	32,596千円	
総事業コスト	68,601千円	70,102千円	69,996千円	

事務事業名	01 まつりつくば事業				指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	まつりつくばへの来場者数	
	戦略プラン	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	なし			
	-	-	-	-	実績	460,000人	460,000人	470,000人	-	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度								
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	安全対策を重視しイベント企画全体を再検証し全市で対応できるよう体制を整備する。				改善目標	桜大橋付近の安全対策を強化するため、当該付近の係員を昨年度より1名以上増加させる。						
根拠法令等	まつりつくば事業補助金交付要項				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> まつりつくば2015の開催【平成27年8月22日・23日】 補助金要項の制定・補助金の申請：5月 補助金の実績報告・確定：1月 まつりつくば大会本部会議の開催：前年1月～1月 まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～9月 まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> まつりつくば2016の開催【平成28年8月27日・28日の2日間】 補助金要項の制定・補助金の申請：4月～5月 補助金の実績報告・確定：1月 まつりつくば大会本部会議の開催：前年度1月～1月 まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～9月 まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月 						
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	<p>昨年度同様に、「まつりつくば大会本部」を中心に、「オールつくば」体制のもと、平成27年8月22日(土)・23日(日)の2日間、つくば駅周辺会場にてまつりつくば2015を開催し、大きな事故等もなく、無事終了することができた。</p> <p>また、本年は科学万博30周年及びTX開業10周年という記念すべき年の開催となり、エキスポセンターや竹園公園を新たな会場として拡大し、例年にも増して盛りだくさんのイベント等を実施した。</p>				上半期活動実績	-						
執行体制	補助金(直接)				成果	<ul style="list-style-type: none"> 今回で35回目の開催を迎えた「まつりつくば」は、宝島社出版の雑誌「日本の祭り百選」にも県内で唯一掲載されるほど認知度が高まった。 来場者数も昨年度を上回る47万人となった。 				上半期成果	-						
事業の概要	<p>つくば市最大の夏まつりとして、市の地域特性を活かし市内の人-の交流を図るとともに、つくばにいながらにしてふるさとを感じることができるまつりとすることを目的に、観光振興及び市のイメージアップを図るため。</p> <p>例年の神輿やねぶたの運行の他に、新企画として「秋田の竿灯5基」を実施し、来場者を魅了した。</p> <p>また、新体制による「まつりつくば大会本部」を設立し、この新体制のもと、関係機関及び団体が堅密に連携し、「オールつくば」体制でまつりつくばを開催することが出来た。</p>				課題	<ul style="list-style-type: none"> 来場者等の安全確保のため、桜大橋付近の安全対策を引き続き検討する必要がある。 ミストシャワーなどを設置する等、会場内の暑さ対策を検討する必要がある。 				課題	-						
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001	-	-	-	-	評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-						
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
						総合評価	A：成果を維持して継続実施			総合評価	-						
													H29年度当初積算根拠				
														H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	22,680千円	24,706千円	25,650千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	22,680千円	24,706千円	25,650千円	0千円
人件費(B)	25,181千円	25,340千円	24,205千円	
正職員	従事割合	2.00人	2.00人	2.00人
内訳	時間外勤務	3684.00時間	3925.00時間	3500.00時間
	臨時職員等	無	無	無
	事業コスト(A+B)	47,861千円	50,046千円	49,855千円

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	34,627千円	36,250千円	37,400千円	0千円
総人件費	33,974千円	33,852千円	32,596千円	
総事業コスト	68,601千円	70,102千円	69,996千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	02	つくば物語事業	指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	つくば物語への来場者数	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン		12	1	観光の振興	9,000人	9,000人	5,000人	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	実績	3,500人	5,000人	-						
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				H27年度				H28年度				その他の指標	なし
根拠法令等	-				改善目標	来年度に向け、筑波山麓秋祭りとの連携を図るため協議していく。				改善目標	開催期日を4月中に決定し、メインの出演者を6月までに確定する。			
事業分類	A 任意的事業				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> つくば物語2015の開催【平成27年10月下旬】 開催期日、事業内容等の検討:5月～6月 事業計画の決定・会場その他施設等の予約:6月～8月 各種契約行為・イベント告知:8月～9月 準備行為:10月 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> つくば物語2016の開催【平成28年10月下旬】 開催期日、事業内容等の検討:4月～6月 事業計画の決定・会場その他施設等の予約:6月～8月 各種契約行為・イベント告知:9月～10月 準備行為:10月 			
執行体制	一部委託				活動実績	平成27年10月31日(土)に平沢官衙遺跡において、「古代遺跡で奏でる音楽の祭典」と題し、つくば物語2015を開催した。本年度は、メインゲストにヴァイオリニスト・作曲家の川井郁子さんを迎えるとともに、本市と郡山市の友好都市提携協定締結1周年を記念して、郡山市の小中学生を迎え、合唱やヴァイオリンのステージを行った。また、遺跡ガイド、地元の物産品販売や飲食ブースコーナーも設置した。				上半期活動実績	-			
事業の目的	平沢官衙遺跡を始めとする観光スポットを認識し、良さを知ってもらい、筑波山や筑波山麓に再来訪してもらうため。				成果	<ul style="list-style-type: none"> 一流のアーティストによるコンサートを呼び水に、筑波山麓の歴史遺産等の観光スポットや地元物産を広く周知することができた。 来場者数は、昨年度を上回る5千人となった。 				上半期成果	-			
事業の概要	平沢官衙遺跡PRを兼ねて、一流アーティストによるコンサートをメインに地元物産の販売を実施。手法:イベント内容を企画し、市広報・ポスター・チラシなどを作成し広報活動を行う。				課題	出演者のスケジュール調整に苦慮したため、開催期日の決定を早める必要がある。				課題	-			
ISO 14001	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-
環境関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	-
	-	-	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		理由	-
	-	-	-	-	評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	34,627千円	36,250千円	37,400千円	0千円
総人件費	33,974千円	33,852千円	32,596千円	
総事業コスト	68,601千円	70,102千円	69,996千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	03	つくばフェスティバル事業			指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	つくばフェスティバルへの来場者数
		12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H26年度		
戦略プラン						120,000人	150,000人	140,000人	-	-	-	-				
総合戦略						130,000人	140,000人	-								
個別計画						H27年度				H28年度				その他の指標	なし	
根拠法令等						改善目標				改善目標				事業実施コスト		
事業分類						事業計画				事業計画				事業費(A)	4,498千円	
執行体制						活動実績				活動実績				国庫支出金	0千円	
事業の目的						成果				成果				県支出金	0千円	
事業の概要						課題				課題				地方債	0千円	
ISO 14001						事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	0千円	
環境						評価				評価				一般財源	4,498千円	
関連性						有効性				有効性				人件費(B)	4,397千円	
						効率性				効率性				正職員	0.50人	
						総合評価				総合評価				時間外勤務	221.00時間	
						達成				達成				臨時職員等	無	
						高: 成果が向上(高水準を維持)している				高: 成果が向上(高水準を維持)している				事業コスト(A+B)	8,895千円	
						中: 適切な費用対効果が得られている				中: 適切な費用対効果が得られている				H29年度当初積算根拠		
						A: 成果を維持して継続実施				A: 成果を維持して継続実施						
						理由				理由						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	34,627千円	36,250千円	37,400千円	0千円
総人件費	33,974千円	33,852千円	32,596千円	
総事業コスト	68,601千円	70,102千円	69,996千円	

事務事業名	04 くさざき夢まつり事業				指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	くさざき夢まつりへの来場者数
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	なし		
総合戦略	-	-	-	-	-	11,000人	11,000人	11,000人	-	-	-	-				
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				実績	11,000人	2,000人	-								
根拠法令等	くさざき夢まつり事業費補助金交付要項				H27年度				H28年度							
事業分類	E 補助金・負担金事業				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事務局の移管を協議していく段階である。 庁内の主管課の変更もしくは、地域コミュニティへの移行を図る。 補助金等も含め、他のイベントとのバランスを検討していく。 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 協賛金の確保を効率的に行うため、9月までに実行委員会内に「(仮称)協賛金部会」を設置する。 					
執行体制	補助金(直接)				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> くさざき夢まつりの開催【平成27年11月上旬】 補助金要項の制定・補助金の申請: 9月 補助金の実績報告・確定: 11月 くさざき夢まつり実行委員会の開催: 5月～12月 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 第4回くさざき夢まつりの開催【平成28年11月19日】 補助金要項の制定・補助金の申請: 9月 補助金の実績報告・確定: 12月 くさざき夢まつり実行委員会の開催: 4月～12月 					
事業の目的	地域に密着したまつりとして、様-な世代に楽しんでもらえるようなイベントを開催し、地域活性化及び交流の促進を図るため。				活動実績	くさざき夢まつり実行委員会及び本市主催のもと、平成27年11月14日(土)、荃崎運動公園において、荃崎地区の各種団体及び商工会会員等による物販、ステージイベント等を実施した。				上半期活動実績	-					
事業の概要	地域のふれあいの場として昭和49年から商工業祭、平成12年度からひまわりまつりとして名称は変わってきたが、地域のお祭りとして定着している。現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している。				成果	本年度は雨天のため、開催当日の来場者は昨年度に比べ大幅に減少してしまったが、荃崎地区区会連合会をはじめ、当該地区の多くの団体が準備段階から係ったことにより、改めて当該地区の地域間・世代間の交流を促進することができた。				上半期成果	-					
ISO 14001 環境性	-	-	-	-	課題	<ul style="list-style-type: none"> 市報の他、市内の他地区への周知方法を検討することが必要である。 事業費の重要な財源である協賛金を昨年度以上確保するため、種類や額などを検討する必要がある。 				課題	-					
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
					有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-					
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
					事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	596千円	545千円	600千円	0千円		
					内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
						県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
						地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
						その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
						一般財源	596千円	545千円	600千円	0千円						
						人件費(B)	2,198千円	1,700千円	1,673千円							
					内訳	正職員	従事割合	0.25人	0.20人	0.20人						
						時間外勤務	110.00時間	80.00時間	70.00時間							
						臨時職員等	無	無	無							
						事業コスト(A+B)	2,794千円	2,245千円	2,273千円							
						H29年度当初積算根拠	-									
					H29年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	01	つくば観光コンベンション協会補助事業	指標名				観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要							
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度											
戦略プラン	-	-	-	-	400万人	400万人	339万人	346万人	353万人	360万人	-	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数(平成28年度以降分)								
総合戦略	2	1	観光の振興				実績	342万人	332万人	-			その他の指標	-						
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
根拠法令等	一般社団法人つくば観光コンベンション協会事業補助金交付要項				改善目標	つくば観光コンベンション協会の財政基盤のより一層の強化を図るよう定期的に指導する。				改善目標	つくば観光コンベンション協会が主体的となった事業展開を図り、つくば市のイメージアップ及び事業収入につなげる。				事業費(A)	41,275千円	41,275千円	41,275千円	0千円	
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	各種事業が適正に実施されるよう指導、助言を行うとともに、観光キャンペーンやイベントを実施する際には連携を図る。				事業計画	つくば観光コンベンション協会が各関係機関と連携をとりつつ、新たな事業展開に取り組んでいく。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	補助金(直接)				活動実績	つくば観光コンベンション協会の各事業に対し、適格かつ適正なアドバイス・助言等を行った。梅まつりなど様々な事業を行うにあたり、事前の打ち合わせやコミュニケーションを頻繁に行い、相互理解を深めることに努めた。				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	・観光コンベンション協会の財源充実、体制強化を図り、行政を超えた領域の観光事業の充実を図るため。				成果	観光物産課からの指導・助言等により、予算執行等がスムーズに行うことができた。				上半期成果	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	・補助団体であることから事業に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 ・誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。				課題	つくば観光コンベンション協会が、独自の事業展開を行って事業収入に繋げることが責務となる。				課題	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				一般財源	41,275千円	41,275千円	41,275千円	0千円	
			評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-				人件費(B)	1,715千円	1,567千円	1,567千円		
			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-				正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
														時間外勤務	72.00時間	30.00時間	30.00時間			
														臨時職員等	無	無	有			
														事業コスト(A+B)	42,990千円	42,842千円	42,842千円			
														H29年度当初積算根拠						
														H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名		02	観光案内事業				指標名		観光案内所利用者数				指標種別		成果指標		指標の概要		つくば市総合案内所, BiViつくば観光案内所, 筑波山観光案内所の利用者数				
戦略プラン		-	-	-	-	目標値		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標		-						
実績		-	-	-	-	実績		64,501人	62,949人	-					事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
総合戦略		-	-	-	-	H27年度				H28年度				事業費(A)		7,234千円	11,682千円	1,808千円	0千円				
改善目標		-				改善目標				Biviにおける観光案内において, ガイドの他に様々な依頼や要望が届いており, お客様の満足アップのための接遇力を向上させる。また, つくば市総合案内所については, 物産会と連携し, 有効に活用する。				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
個別計画		つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				事業計画				駅前タ-ミナルビルに設置予定の(仮称)総合インフォメ-ションと現在の総合案内所との機能分担を実施する。				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
根拠法令等		-				活動実績				総合インフォメ-ションセンター-Biviを開設し, TXやバスからの観光客誘客を行った。また, 外国人に対するおもてなしから, 英語等による簡単な説明を行い, インバウンド誘客にも努めた。				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類		A 任意的事業				成果				TXやバスからの近隣にインフォメ-ションセンターを設置することにより, つくば市を訪れたお客様に対する満足度向上を図り, 外国人にも英語ガイドを行うなど, 満足度向上を図った。				その他特財		0千円	1,000千円	0千円	0千円				
執行体制		一部委託				課題				今後, 増加が予想される中国や東南アジア圏の観光客に対する中国語等でのガイドが必要となる。				一般財源		0千円	10,682千円	1,808千円	0千円				
事業の目的		市内の観光情報を発信するとともに, つくば市の魅力を紹介することにより, 市外からの多くの方に来訪いただき, ひいてはリピータ-の増加を目指すため。				事業の進捗状況				達成	目標の進捗状況	達成	人件費(B)		2,572千円	2,497千円	2,497千円						
事業の概要		広くつくばの観光をPRするとともに, 案内態勢充実を図るため, つくば駅南北自由通路内のつくば市総合案内所及び筑波山観光案内所において, つくば市内外からの来訪者及び電話の問い合わせに対し観光案内業務を行う。また, つくば市総合案内所においては, 簡易な市内全般の案内業務も行う。				評価				有効性	中:適切な成果が得られている				正職員		従事割合	0.30人	0.30人	0.30人			
ISO 14001 関連性		環境性				評価				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				時間外勤務		108.00時間	100.00時間	100.00時間				
						総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				臨時職員等		無	無	有					
														事業コスト(A+B)		9,806千円	14,179千円	4,305千円					
														H29年度当初積算根拠		-							
														H29年度の方向性		-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	03	つくば市学術会議支援事業	指標名	国際会議開催数				指標種別	成果指標	指標の概要		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
戦略プラン	-	-	-	90回	37回	40回	44回	47回	50回	-	市内で開催された国際会議の回数(年集計) 目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数	
総合戦略	-	-	-	実績	66回	44回	-					
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)		改善目標	H27年度 観光コンベンション協会等と補助メニュー等について適宜勉強会を行う。				改善目標	H28年度 現行制度では、会議自体の赤字補てんが目的の補助金であったが、国際会議誘致のための補助金制度に改める。			
根拠法令等	つくば市学術会議支援補助金交付要項		事業計画	観光コンベンション協会を通じて、学術会議開催団体に対し、補助金の交付、開催準備金の貸し付けを実施する。				事業計画	国際会議開催にあたり、事前準備期間が前年度になり、それに合わせて補助金申請も前年度にほぼ確定しているため、適格かつスムーズな予算の確保、執行を行っていく。			
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	つくば観光コンベンション協会を通じての補助金交付について、スムーズかつ適切な補助金執行を行った。				上半期活動実績	-			
執行体制	補助金(直接)		成果	スムーズかつ適切、迅速な補助金執行を実施することにより、補助金活用を促進することができた。				上半期成果	-			
事業の目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図るため。		課題	G7茨城・つくば科学技術大臣会合を前にして、補助金を活用したい団体が多く、補助金対応が極めて難しくなっている。				課題	-			
事業の概要	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ事務委託する。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-	理由	-		
			評価	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している	評価	効率性	-			H29年度の方向性	
			評価	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施	評価	総合評価	-				

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	10,808千円	5,780千円	11,000千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	2,500千円	1,780千円	0千円	0千円
一般財源	8,308千円	4,000千円	11,000千円	0千円
人件費(B)	1,715千円	1,754千円	1,486千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人
時間外勤務	72.00時間	100.00時間	0.00時間	
臨時職員等	無	無	有	
事業コスト(A+B)	12,523千円	7,534千円	12,486千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名	04 筑波山交通渋滞対策事業				指標名	渋滞対策実施日数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	その他の指標					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数								
戦略プラン	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-									
総合戦略	2	1	観光の振興		実績	17日	16日	-													
	-	-	-	-	H27年度				H28年度												
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	SNSを使用するなど、情報提供手段を向上させる。				改善目標	公共機関である関東鉄道が運行する筑波山直通バスの運行時間短縮を実施していく。				事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
					事業計画	関係機関と連携して、春と秋の行楽シーズンに渋滞対策を実施する。				事業計画	一般的な125号線から42号線を利用しての車ルートから、う回路である表筑波スカイライン方面への車誘導を積極的に推進していく。また、一定時間の風返し峠付近を一方通行にするなど、違った方法での渋滞解消方法を検討していく。				事業費(A)	4,159千円	3,778千円	1,375千円	0千円		
根拠法令等	-				活動実績	筑波山の春と秋に発生する渋滞について、県土木事務所と関東鉄道、その他関係機関と連絡を密にしながら、必要な場所に迂回看板等を設置し、情報発信を詳細に行った。				上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業				成果	関係機関との会議開催や情報伝達を行うことで、バスの運行時間短縮を行うことができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託				課題	つくば駅から筑波山までのバス運行時間は短縮できたが、かなりの時間乗車していることに変化はなく、更なる取り組みが求められている。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	春と秋の行楽シーズンを中心に、多くの観光客が筑波山を訪れることから、市営駐車場などのキャパシティを超えて渋滞等が発生する状況となっており、これを緩和するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				評価	有効性 -				一般財源	4,159千円	3,778千円	1,375千円	0千円		
事業の概要	ゴ-ルデンウィ-ク及び秋の行楽シーズンの土日祝日に関係機関と連携して事業を実施 ・渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパ-プルライン方面への迂回誘導				ISO 14001 環境性	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				ISO 14001 環境性	効率性 -				人件費(B)	3,527千円	3,373千円	2,229千円			
					ISO 14001 環境性	総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				ISO 14001 環境性	総合評価 -				正職員	従事割合 0.40人	0.40人	0.30人			
												時間外勤務	180.00時間	150.00時間	0.00時間						
												臨時職員等	無	無	有						
												事業コスト(A+B)	7,686千円	7,151千円	3,604千円						
												H29年度当初積算根拠	-								
																H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名	06 おもてなし観光推進事業				指標名	筑波山観光入込客数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、筑波山観光入込客をカウントした値(年集計)				
	戦略プラン	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	2 1 観光の振興				実績	187万人	175万人	-						その他の指標	-					
	-				H27年度				H28年度											
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	ボランティアのレベルアップを図るための講座を年間を通して開催する。また、年2回ビジターセンター-事業を実施する。				改善目標	観光ボランティアの独自組織化を目指す。ビジターセンターの機能を充実する。									
根拠法令等	-				事業計画	ボランティアレベルアップ講座開設を委託する。筑波山おもてなし館において、ビジターセンター-を開設する。				事業計画	つくば市からの補助金だけでなく、茨城県等の補助金を活用しながら、先進地事例等を行い、団体としての独自立ちをサポートしていく。ビジターセンター開設に向け、環境団体との意見交換を密にしながら、契約を行って内容等を吟味していく。									
	事業分類	A 任意的事業				活動実績	外国人に対する観光ボランティアレベルアップを行うため、日常会話程度の講習会を開催した。筑波山頂とおもてなし館において、ビジターセンターを開設した。				上半期活動実績	-								
執行体制	全て委託				成果		ボランティアに講習会を開催することにより、ボランティアの技術や意識向上が見られた。おもてなしの心でビジターセンターを開設し、来訪者に筑波山の豊かな自然に親しんでいただいた。					上半期成果	-							
事業の目的	観光客に対してきめ細やかで質の高い「おもてなし」を提供し、筑波山を訪れた方の満足度の向上を図るため。					課題	観光ボランティアは、独自の活動する団体としていけるようなアドバイスや指導助言が必要である。ビジターセンターが予算削減に伴い開催回数が減る中、茨城県と協力しながら回数や内容を確保しなければならない。				課題		-							
	事業の概要	おもてなし観光の強化を図るため、観光コンベンション協会へ委託し、観光ボランティアガイドの育成を行い、行楽シーズンに筑波山周辺でガイドを行うほか、つくば環境フォーラムに委託して筑波山頂に期間限定の筑波山観光ビジターセンター-を開設する。					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001 関連性		-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-							
	効率性					中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-								
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-										
															事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
															事業費(A)	2,351千円	2,209千円	1,788千円	0千円	
															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
															その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
															一般財源	2,351千円	2,209千円	1,788千円	0千円	
															人件費(B)	2,572千円	2,764千円	2,229千円		
															正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
															時間外勤務	108.00時間	200.00時間	0.00時間		
															臨時職員等	無	無	有		
															事業コスト(A+B)	4,923千円	4,973千円	4,017千円		
															H29年度当初積算根拠	-				
															H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	07 レンタサイクル事業				指標名	レンタサイクル利用台数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数	
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
総合戦略	-	-	-	-	実績	3,281台	4,057台	-					その他の指標	-
個別計画	自転車のまちつくば基本計画				改善目標	H27年度 ゴールデンウィーク前までに、利用申込書の内容を見直しを行う。その際、外国人にもレンタサイクルを利用しやすいように英語も併記する。				改善目標	H28年度 レンタサイクルを利用する方々への安全面や保管面での周知徹底を行う。			
根拠法令等	つくば市レンタサイクル事業実施要項				事業計画	昨年度同様、観光コンベンション協会及び関東鉄道(株)にレンタサイクル貸出業務を委託する。				事業計画	繁忙期と閑散期での利用実績に差があるため、適格かつ効率的な貸出形態に努め、各方面へ周知する。			
事業分類	A 任意的事業				活動実績	Bivi及び筑波山口において、レンタサイクル業務を行い、スムーズな貸出を行った。				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託				成果	TX駅前でのレンタサイクル貸出を行い、利便性の向上につながった。				上半期成果	-			
事業の目的	・つくば駅の周辺地域や、筑波山麓周辺地域の観光資源を幅広く活用するための利便性向上を図るため。 ・つくば駅からの2次交通手段として活用するため。				課題	大規模イベント時には、レンタサイクル不足があったため、利用形態を見定めながら配車や増車を行う。				課題	-			
事業の概要	・つくば駅及び筑波山口で自転車の貸出業務を実施(つくば駅：通年、筑波山口：4月～11月までの8ヶ月間)。貸出にあたり、申請書受理及び利用料金の徴収等を委託。 ・自転車の修理、日別・月別利用台数調査を実施。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-		H29年度の方向性	理由
						効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-			
						総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-			

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	7,151千円	1,173千円	1,511千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	1,620千円	1,173千円	1,400千円	0千円
一般財源	5,531千円	0千円	111千円	0千円
人件費(B)	2,572千円	2,558千円	2,229千円	
正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人
正職員	時間外勤務	108.00時間	123.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	有
事業コスト(A+B)	9,723千円	3,731千円	3,740千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名	08 観光協力の家事業	指標名	筑波山観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値(年集計)			
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
			200万人	200万人	200万人	200万人	200万人	200万人			200万人		
総合戦略	-	実績	187万人	175万人	-								
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)	改善目標	H27年度				H28年度						
根拠法令等	-	事業計画	観光協力の家に協力していただく方を1軒増やす。				観光協力の家が1箇所減となったため、新たな観光協力の家を確保する。						
事業分類	B 任意的事業(小規模)	活動実績	既存の観光協力の家への観光情報の提供。				新規の観光協力の家の掘り起こし。 観光協力の家に協力いただける家や事業者に対し、適切かつ効率的な協賛金支払を実施していく。						
執行体制	職員のみ	成果	観光協力の家に対し、情報交換等を実施し、パンフレットの設置や協力金支払を実施した。				上半期活動実績						
事業の目的	筑波山麓を訪れる観光客に対して、地元の方-によりおもてなしの心でトイレや休憩所・観光パンフレットを提供し、観光客の満足度の向上を図るおもてなし観光の強化を図るため。	課題	筑波山麓にて実施されるフットパスや各種事業について、観光客の利便性が図られ、満足度が向上した。				上半期成果						
事業の概要	筑波山麓を訪れる観光客に対して、周辺の民家や施設等において「観光協力の家」の看板を掲げ、気軽に休憩できる場所を提供すると共に、トイレの貸出しやパンフレットの提供等を行う。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				目標の進捗状況			
ISO 14001 環境性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				
		事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		212千円	216千円	303千円	0千円
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円
		一般財源		212千円	216千円	303千円	0千円	人件費(B)		855千円	743千円	743千円	
		正職員		従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	時間外勤務		35.00時間	0.00時間	0.00時間	
		臨時職員等		無	無	有		事業コスト(A+B)		1,067千円	959千円	1,046千円	
		H29年度当初積算根拠		-									
		H29年度の方向性		理由									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名	09 フットパス事業				指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数(平成28年度以降分)					
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	-	-	-	実績	342万人	332万人	-							その他の指標	-					
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	H27年度				H28年度											
根拠法令等	-				事業計画	フットパスを活用したウォーキングイベントを1回以上実施する。				改善目標 ・各地区毎の埋もれた観光資源を掘り起こすため、実施場所の現地検証や地元住民の方々の理解を深める。 ・昨年実施出来なかったフットパスを活用したウォーキングイベントを1回以上実施する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
事業分類	A 任意的事業				活動実績	筑波山麓(北条～平沢)において、フットパスコースを設定する。				事業計画 ・筑波山麓(北条～平沢)において、フットパスコースを設定する。 ・専門家や地元有識者、区長等などの意見集約を行い、最小限で最大の効果を発揮すべく道標の本数も検討を行い、事業実施していく。				事業費(A)	1,601千円	1,604千円	1,674千円	0千円			
執行体制	一部委託				成果	平成27年度においては、専門家のアドバイスや関係区長との意見交換を実施し、北条・平沢・神郡地区にフットパスルートを設定し、道標設置した。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市内に点在する観光資源を線としてつなげるため、フットパスコースを設定するとともに、道標を整備し、年間を通して魅力的な観光空間を提供し、恒常的な観光誘客を図るため。				課題	14箇所に道標を設置することにより、新たな観光資源の開拓を行い、観光客を誘客することが出来た。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	課題 海外からのお客様に対するPRや誘致活動を、今後実施していかなければならない。				臨時職員等				0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			事業の進捗状況				-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)		4,173千円	3,833千円	4,037千円
						効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			H29年度当初積算根拠				H29年度当初積算根拠							
						総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			理由				理由							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	10	(H28)第2期つくば市観光基本計画策定事業	指標名				指標種別		活動結果指標		指標の概要	関係部局が会議を開催し、実りある計画策定につなげていく。					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)		H27年度				H28年度				その他の指標	-					
根拠法令等	-	-	改善目標				改善目標										
事業分類	A 任意的事業		事業計画				事業計画				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
執行体制	一部委託		活動実績				活動実績										
事業の目的	つくば市における観光の可能性を認識し、つくば市の持つ観光資源や特性を最大限に活用し、観光振興を図るとともに、観光施策を総合的かつ体系的に構築する。		成果				成果				内訳	事業費(A)	-	0千円	5,311千円	0千円	
事業の概要	「つくば市観光基本計画策定委員会」及び「庁内ワ-キングチ-ム」を形成し、つくば市観光のあり方、今後の方針・施策について検討し、その方針に沿って計画を策定していく。		課題				課題										
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況				事業の進捗状況				H29年度当初積算根拠	H29年度の方向性	-	理由	-		
環境連関性	-	-	評価				評価										
			有効性				有効性										
			効率性				効率性										
			総合評価				総合評価										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	79,042千円	70,227千円	72,484千円	0千円
総人件費	20,672千円	20,992千円	23,783千円	
総事業コスト	99,714千円	91,219千円	96,267千円	

事務事業名	11 広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業				指標名	レンタサイクル利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	その他の指標		
	戦略プラン	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
					実績	-	100	-	-	-	-	-			
総合戦略	2 1 観光の振興				H27年度				H28年度				改善目標	改善目標	
個別計画	水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業				事業計画					実証実験から本事業に移るにあたり、関係自治体の歩調を合わせ、各メディアの露出を増やし、知名度アップを図りつつ、利用者増を推進していく。					
根拠法令等	-														
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	利用者数 155名 (予約者数 175名)				上半期活動実績					
執行体制	全て委託														
事業の目的	日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。				成果	広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業を実施し、様々なメディアに取り上げられ、一定の効果を得ることができた。				上半期成果					
事業の概要	つくばりんりんロードから霞ヶ浦自転車道に関連する7自治体と茨城県で水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ、委託先を決定し、自転車5台を新たに購入し、事業展開していく。				課題	寒い時期に実施は難しく、全体的な貸出件数もいま一步の伸び率だった。				課題					
ISO 14001 関連性					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠		
					評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-					
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-						
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-						
												H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	-	485千円	541千円	0千円
国庫支出金	-	0千円	0千円	0千円
県支出金	-	0千円	0千円	0千円
地方債	-	0千円	0千円	0千円
その他特財	-	0千円	300千円	0千円
一般財源	-	485千円	241千円	0千円
人件費(B)	-	743千円	743千円	
正職員	従事割合	-	0.10人	0.10人
正職員	時間外勤務	-	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		-	-	無
事業コスト(A+B)	0千円	1,228千円	1,284千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	16,451千円	16,961千円	13,512千円	0千円
総人件費	6,101千円	5,973千円	5,231千円	
総事業コスト	22,552千円	22,934千円	18,743千円	

事務事業名	01 観光宣伝事業				指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要		
	戦略プラン	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
	-	-	-	-	実績	400万人	400万人	339万人	346万人	353万人	360万人	-		
	-	-	-	-		342万人	332万人	-						
総合戦略					H27年度				H28年度					
					改善目標	・観光コンベンション協会と連携し、1種類以上の外国語版パンフレットを作成する ・首都圏や圏央道沿線等でのPR強化のため、新規1か所以上を含め、5回以上のキャンペーンを実施する。				改善目標	・外国人向け観光PRの強化として、観光ガイドブック「みちしるべ」の英語版・中国語版を海外旅行代理店に送付する。 ・キャンペーン開催地として圏央道酒々井アウトレットなどの新規開拓を行う。			
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				事業計画	・「ことりっぷ つくばさんぼ」の配布状況を踏まえ、掲載情報の見直し・更新を行った上で5万部の増刷を行う。 ・フォレストアドベンチャー・つくばキャノピ-コースのオープン等、首都圏等でのキャンペーンを5回以上行うほか、通年での情報発信に務める。				事業計画	・観光コンベンション協会や関係団体と連携し、外国語版観光パンフレットの種類増加を推進する。 ・首都圏や圏央道沿線等でのPR強化のため、新規1か所以上を含め、5回以上のキャンペーンを実施する。			
	根拠法令等	-				活動実績	女性向け観光ガイドブック「ことりっぷ つくばさんぼ」5万部の修正増刷を実施。うち2.5万部を首都圏の主要な書店で女性客限定で配布した。また、観光コンベンション協会と連携して観光ガイドブック「ウォッチング」の英語版と「みちしるべ」の中国語版を作成したほか、筑波山シャトルバス車内での英語版観光アナウンス放送を開始した。観光PRについては、首都圏・圏央道沿線を中心に積極的にキャンペーンを実施した。				上半期活動実績	-		
事業分類		A 任意的事業					成果	「ことりっぷ」の首都圏主要書店でのセグメント配布は、2.5万部を概ね2週間で配布完了し、好評を博した。また、観光キャンペーンは関係団体等と連携し、酒々井SAなど新規会場でも実施するなど、広くつくばのPR・観光誘客を図ることができた。				上半期成果	-	
執行体制	職員のみ				課題	・外国人向け観光PRの強化 ・キャンペーン開催地の新規開拓				課題	-			
事業の目的	観光情報の提供、観光キャンペーンの実施、観光ガイドブックの作成、ウォ-キングイベントの実施等、市内の観光資源の魅力をPRする事業を実施することで、観光誘客を図るため。					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-
	事業の概要	観光ガイドブックの作成及び効果的な配布、つくば観光大使を活用した観光キャンペーンの実施、筑波山麓を起点としたウォ-キングイベントの実施等。また、常磐道SAへのパンフレット掲出や、リビング紙への掲載、メディアへの情報提供など、効果的な情報発信を積極的に行う。					有効性	中:適切な成果が得られている		有効性		-		
ISO 14001 環境関連性		-				効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-				
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-					
その他の指標												-		
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初									
事業費(A)		8,451千円	6,861千円	2,512千円	0千円									
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円									
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円									
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	8,451千円	6,861千円	2,512千円	0千円									
人件費(B)		4,386千円	4,294千円	3,552千円										
内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.40人									
		時間外勤務	217.00時間	217.00時間	217.00時間									
	臨時職員等		無	無	無									
事業コスト(A+B)		12,837千円	11,155千円	6,064千円										
H29年度当初積算根拠												-		
H29年度の方向性												-		
理由												-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	16,451千円	16,961千円	13,512千円	0千円
総人件費	6,101千円	5,973千円	5,231千円	
総事業コスト	22,552千円	22,934千円	18,743千円	

事務事業名	02	サイエンスツアー-事業			指標名	サイエンスツアー-利用者数				指標種別	成果指標				指標の概要	つくばサイエンスツアー-オフィスを通じてサイエンスツアー-に受入した人数																		
戦略プラン	12	1	観光の振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																						
総合戦略	2	1	観光の振興		実績	20,366人	20,188人	-																										
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	H27年度				H28年度				改善目標	H27年度																			
	つくばサイエンスツアー-推進事業に係る協定書					<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会とも連携し、セグウェイツアー-や筑波山観光を組み込んだモデルコースを作成する。 年度内に外国語版パンフレットを作成する。 				<ul style="list-style-type: none"> 外国人受け入れのための体制強化として、英語・中国語・韓国語のパンフの作成及び英語の話せる職員の雇用を図る。 					<ul style="list-style-type: none"> 外国人受け入れのための体制強化として、英語・中国語・韓国語のパンフの作成及び英語の話せる職員の雇用を図る。 																			
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> < 誘客件数 > 学校団体200校, 15,000名 一般団体140団体, 5,000名 つくばサイエンスツアー-バス利用者6,200名, 同バスを活用したイベント15回 < 外国人誘客 > 外国人誘客対応検討会の開催 外国語広報資料(パンフレット等)の作成 外国語でのイベント実施 				<ul style="list-style-type: none"> < 誘客件数 > 学校団体200校, 15,000名 一般団体140団体, 5,000名 つくばサイエンスツアー-バス利用者6,000名 < 外国人誘客 > 外国人受入体制強化のため、サイエンスツアー-オフィスに外国語対応可能な職員を配置 英語版ホームページの作成 				事業実施コスト	H26年度決算					H27年度決算					H28年度当初					H29年度当初				
執行体制	補助金(直接)					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> < 誘客件数 > 平成28年2月末現在 学校団体154校, 14,044名 一般団体122団体, 4,343名 つくばサイエンスツアー-バス利用者5,599名, 同バスを活用したイベント11回 国際旅行誘致素材見学会(国際旅行を取り扱うエージェント対象視察会)の実施 サイエンスツアー-ガイドブックの外国語版(英・中・韓)の作成 				<ul style="list-style-type: none"> < 誘客件数 > 学校団体200校, 15,000名 一般団体140団体, 5,000名 つくばサイエンスツアー-バス利用者6,000名 < 外国人誘客 > 外国人受入体制強化のため、サイエンスツアー-オフィスに外国語対応可能な職員を配置 英語版ホームページの作成 				事業費(A)	8,000千円					10,100千円					11,000千円					0千円			
事業の目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、市外から観光客を誘客するため。				成果		世界有数の最先端科学技術が集積する「科学の街つくば」の知名度向上とつくば市全体の魅力アップ及びPRに効果を上げている。また、外国語版パンフレットの作成により、外国人旅行者からの問い合わせが増加した。				<ul style="list-style-type: none"> 外国人誘致に向けた受け入れ体制の強化 筑波山やセグウェイツアー-等市内に点在する観光資源との連携強化 					国庫支出金	0千円					0千円					0千円					0千円		
事業の概要	つくばサイエンスツアー-実行委員会(事務局:茨城県)から(財)茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアー-オフィスへ事業委託し、学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。					課題	<ul style="list-style-type: none"> 外国人誘致に向けた受け入れ体制の強化 筑波山やセグウェイツアー-等市内に点在する観光資源との連携強化 				事業コスト(A+B)	9,715千円					11,779千円					12,679千円												
ISO 14001 関連性	環境性				評価		有効性 中:適切な成果が得られている					有効性 -				H29年度当初積算根拠	H29年度当初積算根拠					理由 -												
	効率性					中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				H29年度当初積算根拠					理由 -															
総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				H29年度当初積算根拠					理由 -																	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	16	観光客動態調査に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	276千円	59千円	90千円	0千円
総人件費	1,715千円	1,679千円	1,679千円	
総事業コスト	1,991千円	1,738千円	1,769千円	

事務事業名	01 観光客動態調査事業				指標名	観光客(筑波山観光客)入込数調査日数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	筑波山での交通量調査とアンケート調査日数					
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	目標値	-			-	-	-	-	
総合戦略	-	-	-	-	-	実績	24日	12日	-												
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標	-						
	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)					平成26年度,新たに筑波山第1駐車場を増設した。現交通量調査地点での調査では第1駐車場の利用数まで反映されていないことから,より正確な数値を出すため,調査地点の変更等を視野に入れ調査方法の見直しを行う。	改善目標				調査日当日の天候によって,交通量が大きく違いデータにも差異が生じるため,雨天時の際の予備日を設けるなど調査方法の見直しを行う。										
根拠法令等	-				事業計画	5月の第3週の平日及び休日,8月・11月・2月の第1週の平日及び休日,計8回を実施予定。				5月・8月・11月・2月の休日の2日間の観光入込客数調査(交通量調査)およびパラメーター調査(聞き取り調査)を実施				内訳	事業実施コスト						
事業分類	D 内部管理事業					活動実績				上半期活動実績					H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初						
執行体制	職員のみ				成果				課題				事業費(A)								
事業の目的	つくば市を訪れる観光客の動態を把握することにより,観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得るため。また,当該事業は茨城県からの委託事業であり,事業を実施,報告するため。				事業の進捗状況				達成				国庫支出金								
	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び,筑波山への入込数を調査し,県に報告する。筑波山は交通量調査から入込数を測定し,その他については各施設より報告を受け,県に報告している。なお,通年調査の他,集客数の大きいイベントについても,来場者数を報告している。				達成				目標の進捗状況				達成				県支出金				
事業の概要	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び,筑波山への入込数を調査し,県に報告する。筑波山は交通量調査から入込数を測定し,その他については各施設より報告を受け,県に報告している。なお,通年調査の他,集客数の大きいイベントについても,来場者数を報告している。				事業の進捗状況				達成				達成				地方債				
	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び,筑波山への入込数を調査し,県に報告する。筑波山は交通量調査から入込数を測定し,その他については各施設より報告を受け,県に報告している。なお,通年調査の他,集客数の大きいイベントについても,来場者数を報告している。				達成				目標の進捗状況				達成				その他特財				
ISO 14001 関連性	-				評価				有効性				中:適切な成果が得られている				一般財源				
	-				評価				効率性				中:適切な費用対効果が得られている				人件費(B)				
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				正職員					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				従事割合					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				時間外勤務					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				臨時職員等					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				事業コスト(A+B)					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				H29年度当初積算根拠					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				H29年度の方向性					
				評価				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				理由					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	17	物産品振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	2,133千円	1,418千円	2,193千円	0千円
総人件費	5,147千円	5,037千円	4,295千円	
総事業コスト	7,280千円	6,455千円	6,488千円	

事務事業名	01 つくばコレクション事業				指標名	つくばコレクション認証数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばコレクションに認証された物産品の総数。				
	戦略プラン	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
	-	-	-	-	実績	22個	24個	-									
総合戦略	-				H27年度				H28年度				その他の指標	-			
	-				改善目標 ・過去4年間の状況を踏まえ、選定委員会のメンバーを再検討する。 ・キャンペーンや広報媒体を活用した効果的なPRを実施する。 ・つくばコレクションの英語版パンフレット及び、原材料名の英語併記の一覧を作成する。				改善目標 ・キャンペーンや広報媒体を活用した効果的なPRを実施する。 ・外国人に向けたつくばコレクションPR。								
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				事業計画	・つくばコレクションの新規認証, 更新品の認証 ・つくばコレクションの市内外に向けたPR(パンフレットの作成・配布, 情報誌等への広告掲載) ・キャンペーン, イベント等での物産品PR・販売				・つくばコレクションの新規認証, 更新品の認証 ・つくばコレクションの市内外に向けたPR(パンフレットの作成・配布, 情報誌等への広告掲載) ・つくばコレクションの英語版パンフレット及び原材料名の英語併記の一覧作成 ・キャンペーン, イベント等での物産品PR・販売							
根拠法令等	つくばコレクション認証要項					活動実績	・市内外で実施されたイベント・キャンペーンでのつくばコレクションのPR ・英語版つくばコレクションパンフレットの作成 ・任期満了に伴うつくばコレクション選定委員の再選定 ・つくばコレクション新規4品・更新5品の認証。(合計24品目)				上半期活動実績						
事業分類	A 任意的事業				成果	これまでのつくばコレクションのPR活動等により, つくばコレクションの認知度が高まり, 認証者から市内外での販路拡大の報告がされている。また, 平成27年度の募集の際には, 事業者からの応募件数も前年を大きく上回った。				上半期成果							
執行体制	職員のみ				課題	・つくばコレクションのさらなる認知度の向上 ・外国人観光客に向けたつくばコレクションのPRとハラル対応				課題							
事業の目的	市内の優れた物産品を「つくばコレクション」として認証し, PRや販路拡大等を行政がバックアップすることで, 物産品の販売促進に結びつけ, 地域経済の活性化に資するため。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-			
	事業の概要	市内事業者に対し, 物産品の公募を行い, 選定委員会を開催してつくばコレクションの認証品を決定する。認証された物産品については, 積極的にPRを実施する。				評価		有効性	中:適切な成果が得られている		評価		有効性	-			
ISO 14001 環境関連性		-				評価		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価		効率性	-			
	-				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-						
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		1,453千円	543千円	1,693千円	0千円	内訳					
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財		54千円	117千円	58千円	0千円	一般財源		1,399千円	426千円	1,635千円	0千円	人件費(B)		4,286千円	4,195千円	3,453千円	
正職員		従事割合	0.50人	0.50人	0.40人	時間外勤務		180.00時間	180.00時間	180.00時間	臨時職員等		無	無	無		
事業コスト(A+B)		5,739千円	4,738千円	5,146千円	H29年度当初積算根拠		-		理由		-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	17	物産品振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	2,133千円	1,418千円	2,193千円	0千円
総人件費	5,147千円	5,037千円	4,295千円	
総事業コスト	7,280千円	6,455千円	6,488千円	

事務事業名	02 市内物産品振興事業				指標名	市内物産品のPR及び出店イベント数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市内外にて、物産会会員が物産品のPR及び出店したイベントの数。						
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-			-	-				
総合戦略	-				実績	H26年度	32件	H27年度	28件	H28年度	-	H29年度	-	H30年度	-	H31年度	-	H32年度	-			
	-					H27年度				H28年度				その他の指標				-				
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日制定)				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物産会と連携した市内物産品の普及活動を行う。 ・物産会会員による物産品の普及活動場所の確保を行う。 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物産会と連携した市内物産品の普及活動 				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
	根拠法令等	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外で開催されるイベントやキャンペーンにて市内物産品のPR及び販売を行う。 ・市内で物産品のPRや販売を行う施設の確保を行う。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外で開催されるイベントやキャンペーンにて市内物産品のPR及び販売を行う。 				事業費(A)	680千円	875千円	500千円	0千円		
事業分類		A 任意的事業					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新規4件を含む28件のイベントやキャンペーンでの出展を調整し、市内外での市内物産品のPR販売。 				上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	執行体制	職員のみ				成果		<ul style="list-style-type: none"> ・物産会に対する補助や出展イベント調整により、市内外に市内の物産品を広くPRすることができ、物産品の普及に寄与した。 					上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的		市内の物産品の振興をとおり、つくば市のPRや観光振興及び、地域経済の活性化に資するため。					課題	市内物産品のさらなる振興				課題		-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	事業の概要	物産会の特産品普及促進事業に対し補助金を交付するとともに、市内外で実施するイベントへの出店調整を行うなど、物産会と連携し、市内物産品振興に努める。また、物産品を開発・改良しようとする者に対し、開発材料の支給を実施する。				事業の進捗状況				達成	目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況				-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	1,541千円
ISO 14001 環境関連性		-				評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				H29年度の方向性	-	理由	-	
	-				効率性		中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-				-					
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光物産課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	18	駅前タ-ミナルビル公共スペース管理運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	30,397千円	0千円	0千円
総人件費	0千円	0千円	0千円	
総事業コスト	0千円	30,397千円	0千円	

事務事業名	01	つくば総合インフォメ-ションセンタ-管理運営事業	指標名	来館者数				指標種別	成果指標	指標の概要		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
戦略プラン	-	-	-	-	17,500人	-	-	-	-	来館者数 目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数		
実績	-	-	-	-	28,344人	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	H27年度				H28年度				
個別計画	駅前タ-ミナル建設方針 つくば市観光基本計画		改善目標					改善目標				
根拠法令等	-		事業計画					事業計画	平成28年度より「12.観光施設維持管理に要する経費」の「02観光施設維持管理事業」へ統合。			
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	来館者数:28,344人 対応者数:7,587人 外国人対応者数:1,461人				上半期活動実績				
執行体制	全て委託		成果	つくば市の交通結末点となるつくば駅及びバスターミナルに隣接した場所に案内所を設けたことで、観光客に対して情報の充実と利便性の向上が図れた。				上半期成果				
事業の目的	つくば市の公共交通の結末点であるつくば駅の立地条件を最大にいかし、観光及び交通情報の発信基地として、外国人対応の体制を図り、魅力ある国際性つくばを発信することで、つくばへ来訪された方への満足度を向上する。		課題	つくば駅自由通路に既存するつくば市総合案内所との差別化が難しい。				課題				
事業の概要	観光案内... 観光に関する豊富な知識と情報、外国語対応を有する者を配置し、市内観光案内・イベント情報等の発信拠点とする。観光レンタサイクル運営... 研究学園都市の各研究機関見学など、緑豊かなペDESTリアンを利用して、つくばを存分に堪能してもらおう観光用レンタサイクルの貸し出し。市内イベント情報の提供... 豊富なパンフレットの配置、窓口案内、デジタルサイネ-ジを活用した情報提供を行う。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-		
				効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-		
				総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-		
			H29年度当初積算根拠				H29年度当初積算根拠					
			H29年度当初積算根拠				H29年度当初積算根拠					
			理由				理由					

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	-	30,397千円	0千円	0千円
国庫支出金	-	4,233千円	0千円	0千円
県支出金	-	0千円	0千円	0千円
地方債	-	0千円	0千円	0千円
その他特財	-	0千円	0千円	0千円
一般財源	-	26,164千円	0千円	0千円
人件費(B)	-	-	0千円	
正職員	従事割合	0.50人	0.00人	
正職員	時間外勤務	361.00時間	0.00時間	
臨時職員等	-	-	-	
事業コスト(A+B)	0千円	30,397千円	0千円	

H29年度当初積算根拠	-	理由	-
H29年度当初積算根拠	-	理由	-